

令和4年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する南三陸町における健全化判断比率および資金不足比率について、令和4年度決算に基づく算定結果は次のとおりです。

▶健全化判断比率

区分	令和4年度南三陸町比率	県内平均(仙台市を除く)	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	- % (▲13.41)		14.73%	20.00%
連結実質赤字比率	- % (▲25.86)		19.73%	30.00%
実質公債費比率	10.5%	6.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	- %	- %	350.0%	

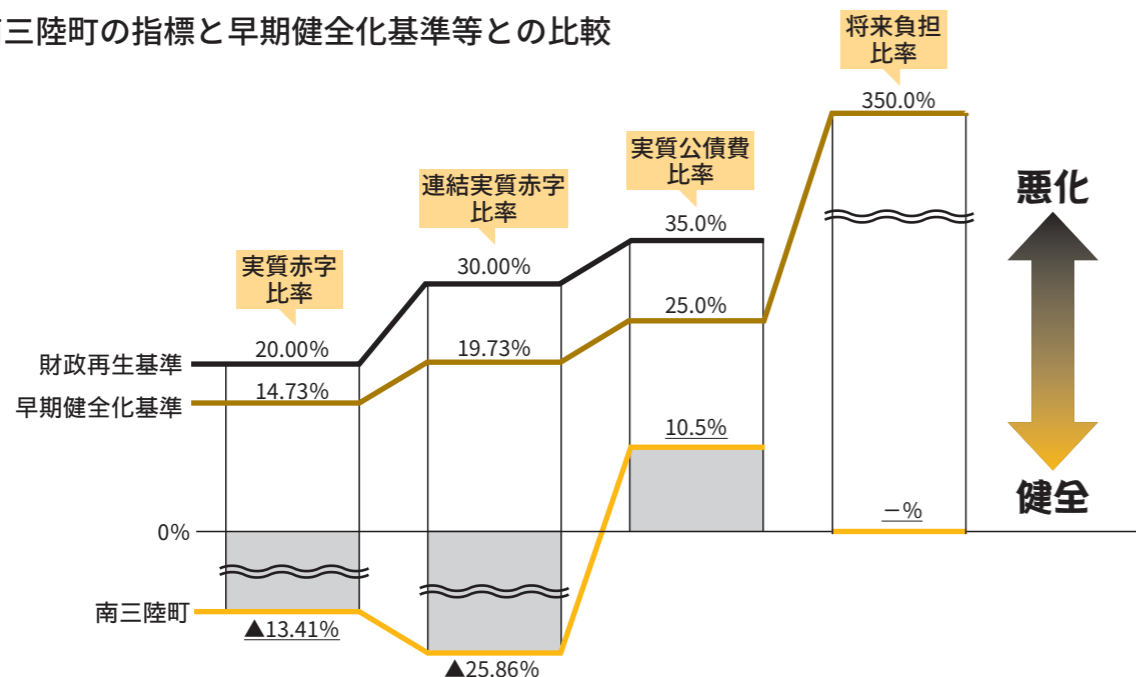
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「- (なし)」で表示し、黒字の数値を参考値として「▲」で表示しています。

▶資金不足比率

区分	市場事業	漁業集落排水事業	公共下水道事業	水道事業	病院事業	訪問看護ステーション事業
資金不足比率	- %	- %	- %	- %	- %	- %
経営健全化基準	20.0%					

※資金不足額がないため、資金不足比率は「- (なし)」と表示しています。

▶南三陸町の指標と早期健全化基準等との比較



■実質赤字比率

福祉、教育、まちづくりなどを行う町の一般会計の赤字額を、標準的な収入と比較して指標化したものです。令和4年度も黒字決算となったことから、算定されていません。

■連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算して、町全体の資金不足の程度を把握するため、標準的な収入との比較により指標化される比率です。連結実質赤字額が生じていないことから、算定されていません。

■実質公債費比率

標準的な収入に対する一般会計の実質的な借入金返済額割合を指標化したものです。令和4年度は、早期健全化基準未満となっていますが、前年度と比較して0.9%増加しました。災害公営住宅建設のために借り入れた地方債の償還など、借入金償還額が増加したことが主な要因です。

■将来負担比率

借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。令和4年度は、一般会計の財政調整基金や寄附金による震災復興基金の積立金があることなどから、算定されていません。

※標準的な収入(標準財政規模) → 54億4,055万5千円(令和4年度)

借入金(町債・企業債)の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、道路新設改良事業や道の駅の建設のためなどに、過疎対策事業債(6億1,920万円)の借り入れを行いました。また、台風19号により被害を受けた公共土木施設および農林施設の災害復旧工事のために、災害復旧事業債(1億4,160万円)を借り入れ、令和4年度の借入総額は12億2,000万円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は5,800万円で、約4.8%を占めています。

他会計においては、公共下水道事業特別会計で2,530万円、水道事業会計で1億670万円、病院事業会計で7,780万円の借り入れを行いました。

町としての令和4年度末現在高の合計額は152億8,950万5千円となり、前年度末から429万1千円減少しています。

区分	令和3年度末現在高	令和4年度借入額	令和4年度償還額	令和4年度償還免除額	令和4年度末現在高
一般会計	133億2,895万4千円	12億2,000万円	11億8,617万円	250万円	133億6,028万4千円
市場事業特別会計	0円	0円	0円	0円	0円
漁業集落排水事業特別会計	5,699万7千円	0円	696万1千円	0円	5,003万6千円
公共下水道事業特別会計	4億662万1千円	2,530万円	3,889万7千円	0円	3億9,302万4千円
水道事業会計	12億7,501万4千円	1億670万円	1億5,900万9千円	0円	12億2,270万5千円
病院事業会計	2億2,621万円	7,780万円	4,055万4千円	0円	2億6,345万6千円
合計	152億9,379万6千円	14億2,980万円	14億3,159万1千円	250万円	152億8,950万5千円

令和4年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	20億3,217万5千円	19億1,022万2千円	1億2,195万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,394万2千円	1億4,985万3千円	408万9千円
介護保険特別会計	16億2,740万1千円	15億2,638万9千円	1億101万2千円
市場事業特別会計	3,326万4千円	3,306万5千円	19万9千円
漁業集落排水事業特別会計	2,872万3千円	1,138万3千円	1,734万円
公共下水道事業特別会計	1億7,081万1千円	1億4,054万1千円	3,027万円

企業会計区分		予算額	決算額
水道事業会計	収益的	収入	6億6,519万5千円
		支出	6億7,401万8千円
	資本的	収入	5億1,120万3千円
		支出	5億9,914万円
病院事業会計	収益的	収入	19億6,450万円
		支出	19億6,450万円
	資本的	収入	1億2,224万4千円
		支出	1億2,224万4千円
訪問看護ステーション事業会計	収入	5,100万円	
	支出	5,100万円	